

「武庫川総合治水の推進」説明会 宝塚市会場での主な当日発言

	発 言 内 容
1	<ul style="list-style-type: none"> ● 治水安全度のスライドについて、千種川が良く似ている規模として1/23であるとの説明があったが、他の河川は流域面積等、規模が全く違う。流域規模が全く違う河川を比較して何の意味があるのか。 ● 手許に、パワーポイント資料が無く質問し辛い、一考をお願いする。 ● ビオトープという言葉については、注意して使って欲しい。誤解を生じている。「代替地」が適切だと思う。 ● 河川計画を立てる時の確率と、住民が理解する感覚は明確に違うことを理解した上で、表現・使用していただきたい。どんな降雨が来ても壊滅的な被害が生じないように、やっていただきたい。噛み合わない議論にならないようにしていただきたい。 ● 一緒に考えるための共通の土俵を作っていただきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーポイントについて、もう少し見たいと思うが、説明が先に行ってしまう。本日は、住民への説明会であり、住民が理解できなければ意味がない。是非パワーポイント資料の配付をお願いする。 ● 県の説明が偏っている等、委員から不満が出ていると思う。委員も出席していただいて、委員にも発言の機会を与えてはどうか。 ● 開発の規制については、今手を付けないといけないこと。計画ができるまで放置すると、開発が進行して、後戻りできない、間に合わない。既に開発は発生している。 ● 他の都市計画課等とも早く手を組んで、条例化等、早く手を打つことが必要である。
3	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民にとって、各治水対策のウエイトは大事。 ● ダム反対の声もある中で、「新規ダムの貢献度や既存ダムの活用等」について、住民の協力という意味からすると、分かりにくいのではないか。 ● 今回の説明会は、流域委員会からの提言と県の今後の方向についてだが、出席者が少ない。県の計画について、住民への広報について、もっと緻密に自治会等を活用する等、徹底してやらないと困ると思う。今回の説明については、途中経過なので仕方ないとは思う。今後、県で計画を作った時の広報について、尽力願いたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ● 開発との絡みについて。地域住民が関心を持って取り組むことが大切である。 ● 今後は、「新しいまちづくりを提案していく」、「地域の人が発言していく」、「努力を地域ぐるみでやっていく」等が大切と考えている。
5	<ul style="list-style-type: none"> ● 県民・市民が、武庫川に限らず関心を持って、地域そのものが、協力する必要性は理解できたが、問題は、武田尾地域の件。河川改修で、住民の立ち退きを聴いているが、駅でもあり、西谷にとって重要な箇所である。住民がいなくなることによって、安全安心が確保できない事が十分に考えられる。

「武庫川総合治水の推進」説明会 宝塚市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> 千苧水源地については、県から神戸市への指導があり、洪水期の前に水位を下げ、洪水期が終了してから水位を上げている。このことについて、波豆地区には連絡があったが、他の地区にはなかった。連絡を徹底して欲しい。 河川改修工事によって台風23号の洪水の水位を1.5m下げたのは結構だが、ヘドロがかなり溜まっており、その上に草が生えている状況である。浚渫等については、総合的・計画的にやっていただきたい。20年程前に、神戸市の浚渫によって、昔の路が寸断されたことがあった。環境も大切、水量の減少も大事なこと、機械で機械的にやるのではなく、地域に優しい方法でお願いしたい。 武田尾は、JRの駅でもあり、大事な場所である。家があって、人がいて地域の安全が守れる。 西谷全般の問題である。しっかり考えていただきたい。
6	<ul style="list-style-type: none"> 渇水時に、ダムの水が減っても、水道用に川の水を汲み上げることはできる。
7	<ul style="list-style-type: none"> 波豆川の浚渫について。浚渫すれば、川がきれいになること、及び洪水を防ぐことは理解できるが、生物への影響等が懸念される。浚渫は、下流から順次進めていくが、上流の浚渫されていないドロドロの水が下流へ流れていき、川がいつも汚い状況である。上流から浚渫できないのか。 これまでに何度も氾濫しているが、もっと長期的、かつ思い切った治水の政策が必要ではないか。 下流からの原則は理解できるが、地域の特性からすると、この地域では上流からでも可能と思う。
8	<ul style="list-style-type: none"> 橋桁の高さが低いと川の水を堰き止める、また、川幅が狭い場合も水を堰き止める。そういった点も考慮して進めて欲しい。
9	<ul style="list-style-type: none"> パワーポイントの説明にもあったように、最近、雨量が増えている。地球温暖化による異常気象も影響していると思うが、一方、山の開発も影響していると思う。
10	<ul style="list-style-type: none"> 千苧水源地で、すごく泥が貯まってきている。干上がって、カラカラになった時があったが、そういう時こそ、泥を上げやすい時である。臨機応変に対応するべき、と考える。川下川ダムも同じである。また、台風の進路情報は事前に把握できるため、水の調節も臨機応変に対応すべきである。
11	<ul style="list-style-type: none"> 浸水想定区域図は、開催地に関係する分だけでなく、武庫川流域全体を示した方が良いのではないかと考える。 県の体制については、あまりにも細かいため、見てもすぐ分からないので、工夫が必要である。もう少し丁寧の説明していただきたい。 確率評価の話については、誤解が生じる恐れもあるので、慎重にやっていただきたい。また、委員会の提言には、1/18は書いておらず、1/18を説明するのは、おかしいのではないかと考える。委員会提言では、流量を主張しているだけである。「流域委員会からの提言」の説明には入れるべきではない。

「武庫川総合治水の推進」説明会 宝塚市会場での主な当日発言

1 2	<ul style="list-style-type: none"> 1/18 は、平成 16 年の新しい雨を入れた時になる。1/18 は、対象とする洪水によって変わるものである。流量だけの話にするべきである。確率を言うなら、数学的に厳密に説明すべきである。
1 3	<ul style="list-style-type: none"> 宝塚市に、2 年前に引っ越してきた。「武庫川ダム」については、かなり前から議論されている、と聴いている。本日の説明会は、少ない人数で、意識が遠いかなとは思ったが、流域の方々は、心配している。河川改修計画は、住民の生命・財産に関わる重要なものであり、1/18 や 1/20 といったレベルでは、沿川に住む人は困るし、心配している。 「雨量や確率、流量等」については、出向いて行って、説明し理解してもらうべきである。本日の説明は総花的であり、そのところを説明するべきである。 川の近くに住民・沿川の人に説明すべきであり、納得してもらうべきである。生物や景観も大事だが、2 次的な問題であり、生命・財産が大事である。 堤防の嵩上げ等については、とんでもない話である。民有地も多く、問題が多い。 流域の方々は、情報を待ち構えている。平成 16 年に、支流の河川が増水して、一部民家は避難した。
1 4	<ul style="list-style-type: none"> 流域委員会の事務局は、武庫川企画調整課であり県当局で実施している。試算も県で実施した。その上、担保性、経済性を含めて提言が出た。いまさらなぜやる必要があるのか疑問に思う。 アセスメントの問題は、やれば新規ダムは可能と聴こえたが流域委員会で何十回もやって、30 年スパンでは見送ったと報道されているので、市民としては、アセスメントをすれば新規ダムができることは、不審に思う。 流域委員会は、あらゆる角度から総合的な治水対策について検討している。 神戸市の千苅ダムについても、治水転用は可能である。既存の考え方ではなく、発想の転換が必要である。武庫川ダムは、もとは、昭和 40 年に利水目的から水余りなって治水ダムになり、今の問題になっている。水道問題に取り組んできたが、工業用水が余っても、それを生活用水へ転換できないので、ダムがたくさん造られてきた。ダムは多額の費用もいるので、ダムに頼らない治水のあり方が必要で、流域委員会の提言を尊重すべきである。神戸市と話し合えば、千苅ダムの治水転用は可能と考える。
1 5	<ul style="list-style-type: none"> 基本高水の議論は委員会の全一致で 465l³/s 決まったとあるが、決してそうではない。委員の中や委員の専門委員の方もいろんな意見があり、今後とも絶対的なものではない。 基本方針は 100 年に 1 回を想定しているが、これから先 100 年を考えると、途中で何回か検討していく必要があるのではないか。H. 16 の台風 23 号の 2900 m³/s は、過去 80 年で最大流量である。何でそんな大きな雨を想定する必要があるのか。30 年スパンで考えるのが良いのではないか。

「武庫川総合治水の推進」説明会 宝塚市会場での主な当日発言

	<ul style="list-style-type: none"> ● 数字は大きいほど良いが、5000m³/s、6000m³/sは、だいたい可能なのか。今でも何年もかかって1/18でやってきたのがせいぜいではないのか。 ● 県はいろんな事を検討しないと流域委員会へ回答できない。水田も地域のお百姓に対し、了承を得ないといけないし、補償も考えて提案しないといけない。そうすると流域委員会への回答は、5月末にできるはずがないのではないのか。
16	<ul style="list-style-type: none"> ● 新聞を見ていて、ダムは30年間やめておくべきだとの提言がでていたが、今日の説明は違う。
17	<ul style="list-style-type: none"> ● 治水対策として、学校やため池に金をかけるのと、武庫川へ流れ込むまでに水を止める対策に金をかけるのと、どちらが効果的か考えて欲しい。 ● 雨を、土へ浸透させる対策を進めて欲しい。県民緑税等を活用して、雨を吸収する植林等の対策を進めて欲しい。
18	<ul style="list-style-type: none"> ● 調整池などの開発規制については、法律だけでクリアできるのか。ミニ開発等もある。土地の問題（費用等）があるので、学校の地下に水槽はできないか。武庫川の河川敷の下はどうか、貯水池等、田んぼの下はできないか知恵を絞っていただきたい。
19	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存ダムの有効活用については、青野ダムはできそうだ。 ● いきなり新規ダムより、既存ダムの有効活用が先ではないかと考えている。
20	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日の説明は、最初から結論ありきの説明のような気がする。課題ばかりで、不信感を持つ。
21	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規ダムありきで進んでいる気がする。委員会で30年間ダムを造らない提言があったが、県は新規ダムを提案している。何故新規ダムに固執するのか。生命財産を守ることは理解できるが新規ダムの前に、潮止堰を撤去すれば流下能力が高まる。新規ダム以外で、もっと他の案を検討して、それからダムを考えるべき。ゼロベースから、と言っておきながら、まるで、まやかしか聴こえない。 ● 潮の遡上については、ほとんどの農家については影響ない。井戸水も利用していない。潮止堰は、転倒するとしても、流下能力は低下している。